



日蓮聖人が身延山で修行した折、この峰越しに故郷房州の父母を偲んだという伝説から思親山の呼び名が付いたということである。富士川を身延線に沿って少し遡ったところにある。今回歩いたコースはすべて東海自然歩道と重複している。なだらかな山並みで牛山の別名もあるということである。



ツアーリーダーは、メインが押田さんでサブが関根のおばさんである。靴マーク 2 であるのでまあその程度の人々が参加している。天神山や堅破山の話をしている人もいたので何人かは初めてではないようである。しかしバアサマの顔なんて、サルやニワトリと同じでどれも同じにしか見えない。総勢 18 人でそのうち男は 4 人である。ますます平均寿命の男女差が大きくなりそうだ。